

企業会計基準委員会と国際会計基準審議会は会計基準の コンバージェンスに向けた共同プロジェクトの初会合を開催

平成 17 年 3 月 11 日

3月9日、10日の2日間、企業会計基準委員会（ASBJ）と国際会計基準審議会（IASB）は、会計基準のコンバージェンスに向けた共同プロジェクトの初会合を東京で開催しました。この会合は、ASBJから斎藤委員長をはじめとするボードメンバー4名とスタッフが、IASBから Tweedie 議長をはじめとするボードメンバー及びシニアスタッフの5名が参加して行われたものです。

初日は、相互理解を図るために、ASBJが昨年9月に公表した討議資料「財務会計の概念フレームワーク」を説明し、日本の会計基準の背景にある基本的な考え方とIASBの概念フレームワークについて意見交換を行いました。2日目は、両者の会計基準間の差異の全体像について概観したうえで、第1フェーズで検討する項目及びASBJ独自で検討を進めている項目について議論を行いました。

検討の結果、プロジェクトを軌道に乗せるために比較的着手しやすいところから取り組むこととし、以下に掲げた5項目を第1フェーズの検討項目として引き続き協議していくことで合意しました。また、第1フェーズで取り上げる項目がほかにないか、引き続き両者で検討していくことになりました。

1. 棚卸資産の評価基準（IAS 2）
2. セグメント情報（IAS 14）
3. 関連当事者の開示（IAS 24）
4. 在外子会社の会計基準の統一（IAS 27）
5. 投資不動産（IAS 40）

ASBJ独自で検討を進めている項目（ストック・オプション、株主持分変動計算書など）についても、会計基準のコンバージェンスに資するものであることが認識されました。

今後、第1フェーズで取り上げることになった上記の5項目は、今回の議論を踏まえて、各々で検討されます。具体的な進め方は、明確になった段階で公表することを予定しています。

次回は本年9月にロンドンで開催する予定です。

今回の会合について、斎藤静樹 企業会計基準委員会委員長は、「今回の会合で、コンバージェンス・プロジェクトはよいスタートが切れたと思う。もちろん、今後多くのこ

Press Release



財団法人 財務会計基準機構

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-10 第9興和ビル
TEL. 03-5561-9618 FAX. 03-5561-9619
URL <http://www.asb.or.jp/>

とをしなければならぬだろう。我々は、相互理解に基づいて会計基準の差異を縮小する糸口を得たと思う。このプロジェクトが軌道に乗れば、予想されている以上に会計基準のコンバージェンスが進む可能性もあるかと思う。」と語っています。

David Tweedie 国際会計基準審議会議長は、「我々は、世界で単一の会計基準という普遍的な目的を追求するうえで、他の会計基準設定主体と同様、日本の会計基準設定主体と検討する機会を得たことを歓迎したい。ASBJ との取組みは、各国の会計基準設定主体がこのプロセスにどのように貢献するかを示すよい例であると思う。我々は、今後とも有意義な会合を期待している。」と語っています。

問合せ先

企業会計基準委員会事務局 Tel 03-5561-9618 (代)